

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画 部	奈良 滋	地域企画 課	企画・ゆざ わおがち 売込み班	小林大悟	0183-73- 8191	「ゆーとびあ情報」広報推 進事業	振興局には住民に対し 広く迅速に情報提供や呼 びかけを行う手段がない。 そのため、広報紙を持つ 町村と比較しても、振興 局事業はなかなか住民に 周知されにくい。 振興局事業を住民に迅速 にPRするため、湯沢雄勝 の住民に親しまれている コミュニティFMを活用して 広報することを目的とす る。	65,880	直営	通常放送 42回 対談形式 5回	県	管内FM ゆーとびあ 聴取者	平成28年4月26日	地域のコミュニティFMラジ オを利用することで、振興 局の普及啓発事業(入浴 事故防止の呼びかけ、ク マ被害の呼びかけ、雪下 ろし作業事故危険防止呼 びかけ、など)や地域の各 種イベント、問題等につ いて地元住民の意識の上 げにつなげた。	FMゆーとびあをさらに活用 しながら、他の媒体も活用 することで、地域住民を 始め、近隣市町村の住 民に対して、雄勝地域 振興局の事業を積極 的にPRしていく。また、 災害時の情報提供など、 住民が必要とする情報 をいち早く伝える広報 媒体として次年度以降 も実施する予定。
						平成28年4月26日～ 平成29年3月31日									
総務企画 部	奈良 滋	地域企画 課	企画・ゆざ わおがち 売込み班	小林大悟	0183-73- 8191	「新エネルギー学習会」事 業	平成27年5月に山葵沢 地熱発電所が着工、同年 8月には湯沢市で地熱サ ミットが開催されるなど、 地域内では地熱への関心 が徐々に高まりつつある。 この機会をさらに一歩 すすめて、小中学生が故郷 への愛着と誇りを持てる ような取組へと結びつけ ていく	43,820	直営	上の岱地熱発電所等への 見学を含んだ授業を小学 校2回(72名、69名)、中 学校1回(32名)、東北 電力に講師を依頼して 行う出前授業は小学校 で1回(72名)実施した。	県	管内在住 の小中学生	平成28年4月26日	生徒自身が地熱発電所 に足を運んで、実際に蒸 気を見学する現場やター ビンを回す現場を見るこ とを学んでもらえた。東 北電力やジオガイド等の 外部講師を活用すること で分かりやすい授業に することが出来、理科・ 社会・総合的学習の一環 として学校から受け入れ られている。	発電の仕組みは小学4、 5年生には難しい内容 のため、さらに説明方法 を工夫する必要がある。 出前授業を発電所見学の 事前授業として位置づけ たり、一学期で発電所見 学、二学期で地熱に関する 産業を学ぶ、等の複数 回の授業実施も検討す べきである。 今後は羽後町、東成瀬 村の小中学校に積極的 にPRしていきたい。
						平成28年4月26日～ 平成28年10月20日									
総務企画 部	奈良 滋	地域企画 課	企画・ゆざ わおがち 売込み班	佐々木 芳春	0183-73- 8191	地域資源を活用した地場 産品PR支援事業「世界に 一つイッピンラベル」	各種イベント実行委員 会等と湯沢雄勝の地場 産品を広くPRするた めのしかけづくりを 検討し、将来、地元 企業等の自主的かつ 活発なPR活動に結 びつくよう支援す る。	80,435	直営	振興局事業や管内イ ベント実行委員会等 の協力のもと、地場 産品などのPR方法 や販促方法の提案の 一つとして、その場 で来場記念オリジナル ラベルを作成し、そ れを貼り付けた地 場産品のプレゼント などを行った。同時 にアンケートも実 施し、結果は協力機 関等へ提供した。	県	地域住民 及び管内 事業者	平成28年4月26日	地場産品などのPR 方法やイベント内 での販促方法の 提案の一つとして 実施し、管内市 町村やイベント 実行委員会等 から高評価であ った。また、管内 のイベントにお いて、当事業を モデルに同様の 取組の実施や 地元団体・企業 での導入検討 など、一定の波 及効果があった。	PR活動について、イ ベント実行委員 会及び地元企業 がより積極的に 取り組む、販促 効果の検証、さ らなる工夫や 仕掛け作り に結びつけて いく必要がある。
						平成28年4月26日～ 平成29年3月31日									
総務企画 部	奈良 滋	地域企画 課	企画・ゆざ わおがち 売込み班	澤橋 亨	0183-73- 8191	しごとデザインU-17☆ ゆざわおがちの高校生ガ イダンス	国内外に誇れる魅力的な 管内企業が多数存在する ものの、若者に対する郷 土の魅力発信が不十分 なまま、進学・就職を契 機に県外へ流出させて しまう環境を見直し、 将来の若者定着を促 進するため郷土で働 き誇りの醸成や将来 目標を鮮明化させる 機会として高校生向け 企業展示会を開催す る。	137,600	直営	H28.12.17湯沢グ ランドホテルを会場 に高校生300人、 企業32社が参加し 開催。	県	管内在住 の高校生、 管内の 企業	平成28年4月26日	多様な業種に触れて もらうことで新たな 気付きを与えら れたほか、高校生 の関心度合いに関 わらず多様な職業 にふれてもらうこ とで自身の目標を 鮮明化して もらうことが できた 学校教員、保護 者等に対しても 地元企業を 広く知って もらう機会 となった	個々の企業 プース運営 の充実に加 えて、企業 関係者によ るステージ PRなどのメ ッセージ性 を高める場 面の充実が 必要なか、 キャリア教 育との相乗 効果や教育 機関との連 携強化をね らい中 学生向け 企業展示会 の開催も 視野に入れ ていきたい。
						平成28年4月26日～ 平成29年3月31日									

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	奈良 滋	地域企画課	企画・ゆざわおがち売込み班	小坂広美	0183-73-8191	種苗交換会協賛事業「石川理紀之助の師・高橋正作を知る企画展」	種苗交換会創設の功労者である、石川理紀之助と高橋正作を知ることで、秋田県の農業の歴史や農業指導者たちの思想について理解を深める。	75,000	委託	種苗交換会開催に合わせ、交換会創始者である石川理紀之助と、石川理紀之助の師、秋田の農業の礎を築いた高橋正作との師弟関係や絆を知るための講演・対談会を行った。	県	県民	平成28年9月20日	官民一体となった積極的な告知により、広く管内外から参加した。参加者の反応も上々で、高橋正作と当市との縁をより多くの方々に知ってもらう機会になった。民間団体への『委託』形式、市教委主催事業との同時開催により相乗効果も得られ、非常に有意義な取組となった。	今回のような「官民協働形態」により新たな視点を取り入れつつ、地域資源の積極的な掘り起こしを行い、交流人口拡大に結びつけていく。
						平成28年9月20日～平成28年11月10日									
福祉環境部	小松真吾	健康・予防課	健康・予防班	佐藤まゆみ	0183-73-6155	地場産野菜と果物を活用した減塩対策事業	がんや脳血管疾患等の生活習慣病予防のため、野菜・果物の摂取量増加に着目した減塩対策事業を実施する。	217,253	直営	・「野菜(果物)たっぷりレシピ」の作成と普及 ・ナトリウム・カリウム教室の開催 ・研修会の開催	県	地域住民	平成28年4月26日	レシピの配布は地域でとれる野菜を活用したものであるため好評であった。ナトリウム・カリウム教室では、地域での普及活動でもこの体験を活かし、今まで以上に減塩と野菜摂取について強く取り組むことができるようになったとの意見が聞かれた。研修会では他県の取組等の紹介により、地域ぐるみで減塩・野菜摂取に取り組む機運が一層高まった。	2年継続して実施し、地場産野菜・果物を活用したレシピ集(春・夏版)(秋・冬版)を作成することができた。次年度以降はこれを活用し、管内市町村や健康づくり関係団体が実践できるよう支援していく。
						平成28年4月27日～平成29年3月31日									
農林部	小松貢一	森づくり推進課	林業振興班	春日勝年	0183-73-5112	「ウッドファーストな雄勝」県民PR運動	多くの県民、企業や自治体等の担当者が訪れる振興局庁舎に木製品を設置し、製品に触れてもらうとともに、公共施設等での活用スタイルのついてモデルを示し、地域における需要喚起に結びつけることを狙いとする。	253,800	直営	昨年に引き続き振興局県民ホール内に「ウッドファーストな雄勝PRコーナー」を設置し、腰板や木製長いす等を設置し、PRを行った。併せて、美の国HPによる広報・周知を行った。	県	地域住民、管内事業者及び行政機関等	平成28年12月19日	来庁される県民等への県産材利用周知につながった。また、この活動がきっかけとなり「羽後町総合交流拠点施設・端縫いの郷」内への県産材備品導入(生産者伝葉棚)に結びついた。	各種イベントなどの機会を捉え、雄勝地域における「ウッドファーストな雄勝」の浸透を図る。また、木製品の貸し出し事業も併せてPRを行い一般県民の目にとまる場所等に設置する。
						平成28年12月19日～平成29年3月31日									